

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金配当基準日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月(基準日:3月31日)
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.nisshinbo.co.jp/">http://www.nisshinbo.co.jp/</a> ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
株式に関する お手続き	<b>【証券会社で口座を開設されている株主様】</b> 当該証券会社にご連絡ください。 <b>【証券会社で口座を開設されていない株主様】</b> 三菱UFJ信託銀行にご連絡ください。 TEL 0120-244-479 (通話料無料:24時間受付) インターネット <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

# NISSHINBO

## 第170期 [中間期]

# 株主通信

2012年4月1日～2012年9月30日



日清紡ホールディングス株式会社

〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11  
<http://www.nisshinbo.co.jp/>



日清紡ホールディングス株式会社

(証券コード3105)

株主の皆様へ



## いま、必要な会社として、未来を創る会社として

株主の皆様には、日頃より日清紡グループへの深いご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社グループは、「グローバル戦略の深耕」をスローガンに、成長するアジア経済圏を取り込んだ成長戦略を描くと同時に、「環境カンパニー」として、自らの事業活動における環境負荷の低減と、持続可能な社会の実現に貢献する商品を開発・提供することで、事業の成長と社会貢献の両方の実現に取り組んでいます。

環境・エネルギー問題は、人類にとって最重要課題です。当社グループは、環境・エネルギー分野を核にした事業活動を通じて、現在そして未来において、世界から必要とされる会社を目指します。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

うざわ しずか  
(うざわ しずか)

### 当第2四半期連結累計期間(中間期)業績について

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、TMD Friction Group S.A. (TMD社)を連結子会社に加えたことで大幅に増加しました。営業利益は、TMD社の買収に伴って生じたのれんの償却費負担があったものの、エレクトロニクス事業の事業構造改革の効果から損益が大幅に改善したことや、不動産事業の大型分譲などにより、増益となりました。

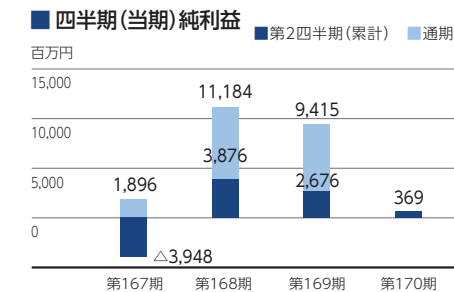
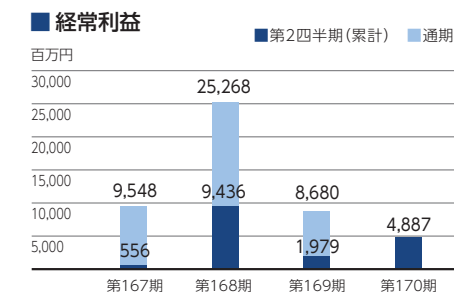
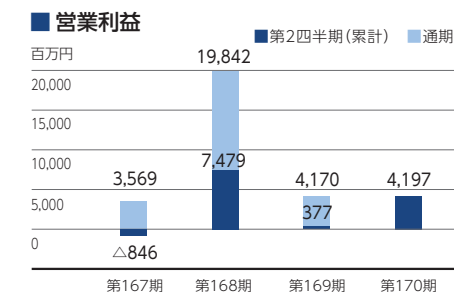
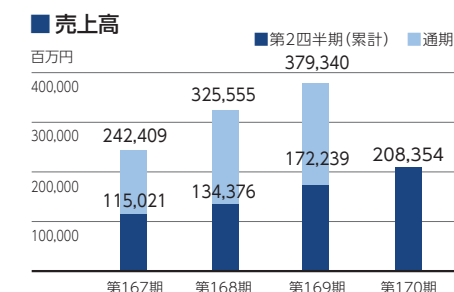
連結業績	第2四半期(累計)	前年同期比
売上高	208,354百万円	21.0%増
営業利益	4,197百万円	3,820百万円増
経常利益	4,887百万円	146.9%増
四半期純利益	369百万円	86.2%減

### 当社グループの再成長へ向けて

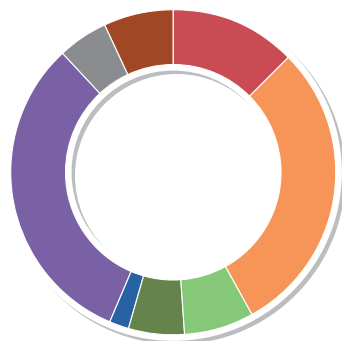
当社グループは、2018年3月期(2017年度)までに売上高6,000億円超、ROE9%超を目指していますが、昨年、世界有数のブレーキ摩擦材メーカーであるTMD社を買収したことにより、目標達成に向けてまた一歩前進しました。

事業規模の拡大による再成長のため、引き続き積極的なM&Aを検討するとともに、エレクトロニクス事業、精密機器事業での一層の事業構造改革を断行し、既存事業の世界生産体制の拡充を進め、グローバルに事業を拡大していきます。

さらに、当社グループは、「環境カンパニー」として、スマートファクトリーなど新技術を活用した新規ビジネスを事業化し、環境・エネルギーの分野でさらなる成長を目指します。



■ 事業別売上比率



- 繊維事業 12.7%
- ブレーキ事業 29.4%
- 紙製品事業 7.0%
- 精密機器事業 5.6%
- 化学品事業 1.9%
- エレクトロニクス事業 31.6%
- 不動産事業 5.1%
- その他事業 6.7%

繊維事業 シャツ、テキスタイル、デニムなど



売上高	26,440百万円	↓
(前年同期比14.1%減)		
営業利益	195百万円	↓
(前年同期比74.1%減)		

夏物商戦不振の影響などにより国内需要が低調であったことに加え、インドネシア子会社の受注減・原料コスト増などにより、減益となりました。

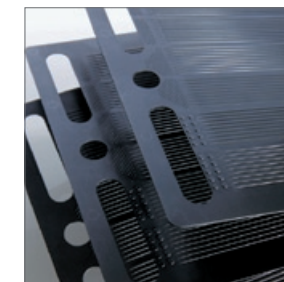
精密機器事業 太陽電池製造装置、精密部品加工、プラスチック成形品など



売上高	11,710百万円	↓
(前年同期比14.2%減)		
営業損失	199百万円	↓
(前年同期比70百万円の悪化)		

太陽電池市況の停滞による設備投資の延期・凍結の影響を受けた太陽電池製造装置の売上減、欧州の自動車生産減少に伴う自動車向け精密部品加工の受注減などにより、損失を計上しました。

化学品事業 ウレタン・カーボン製品、機能化学品、燃料電池セパレータなど



売上高	3,928百万円	↓
(前年同期比2.5%減)		
営業損失	102百万円	↓
(前年同期比267百万円の悪化)		

高機能樹脂素材「カルボジライト」の売上が増加したものの、断熱製品やカーボン製品の販売が振るわず、燃料電池セパレータや電気二重層キャパシタも減収となり、損失を計上しました。

ブレーキ事業 摩擦材、アッセンブリ製品など



売上高	61,299百万円	↑
(前年同期比166.2%増)		
営業損失	1,637百万円	↓
(前年同期比3,749百万円の悪化)		

自動車生産の回復に伴う売上増やTMD社の買収・連結子会社化により、大幅な増収となったものの、買収に伴うのれんの償却費用の負担などにより、損失を計上しました。

紙製品事業 家庭紙、洋紙、紙加工品など



売上高	14,640百万円	↑
(前年同期比2.3%増)		
営業利益	210百万円	↑
(前年同期比499.9%増)		

トイレットペーパーの高付加価値品の売上増、ファインペーパーや合成紙のインクジェット製品の販売好調、原料価格の低下によるコスト減少などにより、増益となりました。

エレクトロニクス事業 情報通信機器、半導体製品、電源・エネルギー機器など



売上高	65,821百万円	↓
(前年同期比4.8%減)		
営業損失	1,296百万円	↑
(前年同期比2,204百万円の改善)		

携帯通信事業者向けの通信インフラ関連機器や防災需要の回復に伴う防災行政無線システムの売上増、新日本無線(株)の事業構造改革の効果などにより、損失は大幅に縮小しました。

不動産事業 宅地分譲、土地・建物賃貸など



売上高	10,640百万円	↑
(前年同期比201.4%増)		
営業利益	8,854百万円	↑
(前年同期比251.5%増)		

工場跡地の宅地販売、土地賃貸、オフィスビル・商業施設の建物賃貸が順調に推移したことに加え、名古屋の工場跡地の大型分譲を実施したことから、大幅な増益となりました。



特集

## スマート化社会に向けた 日清紡グループの取り組みについて

当社グループでは、「環境カンパニー」として、環境・エネルギー分野でさまざまな新しい事業に挑戦しています。

このたび、低炭素・省エネルギーに貢献するスマート化社会の実現を目指し、当社グループのエレクトロニクス、ケミカル、メカトロニクスの技術を集約した「スマートファクトリー」が徳島事業所内に完成しました。また、「いちご工場」の栽培設備を増強するとともに、「メガソーラー」「スマートコミュニティ事業」への取り組みも開始しています。

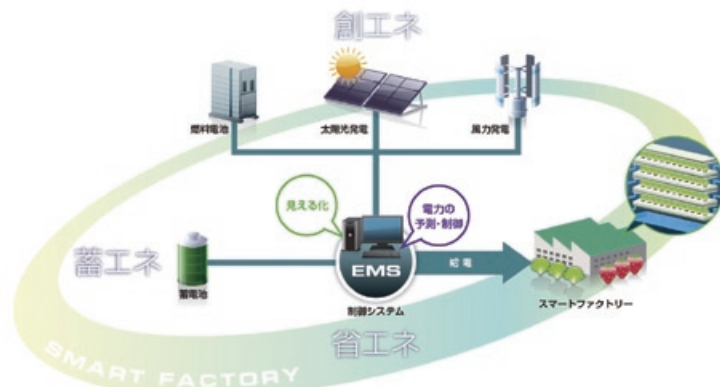
スマート化社会とは 情報通信技術を組み合わせ、地域全体としてエネルギーの運用を最適化した社会のこと

### スマートファクトリー

当社のスマートファクトリーは、太陽光発電・燃料電池などのクリーンエネルギーによる発電システム、電気二重層キャパシタを使った蓄電システム、そして電力ロスを減らす高電圧直流給電システムと電力を監視・制御するEMS（エネルギーマネジメントシステム）で構成された、「創エネ」「蓄エネ」「省エネ」技術のつまったシステムです。

工場で使用するエネルギーの需要と供給を制御・管理することで、発電量が一定しない太陽光・風力の自然エネルギーも効率的に活用できます。

徳島事業所の実証実験を経たのち、地域社会への貢献、東北地方の復興、海外新興国の発展につながる事業での展開を目指します。



### メガソーラー計画

徳島事業所内の約10,500坪の土地に7,840枚の太陽光パネルを設置し、1.75メガワットの大規模太陽光発電所「メガソーラー」を建設します。(2013年8月完成予定)

建設にあたっては日清紡メカトロニクス(株)が設置を担当し、同社が設置事業へ進出することで、太陽光関連ビジネスをさらに強化します。



(完成予想図)

### スマートコミュニティ事業

当社グループの無線通信・情報処理・太陽光発電システム・キャパシタ・燃料電池などの技術を活用し、「防災」「交通」「船舶」の3分野でスマート化社会に貢献する事業を展開します。

#### 防災のスマート化

防災関連技術・ノウハウと再生可能エネルギー・EMSの技術を融合し、新しい防災システムを提供します。

#### 交通のスマート化

高度道路交通システム技術や周辺監視技術により車の情報通信機能を強化し、ドライバーの運転を支援します。

#### 船舶のスマート化

情報通信技術を用いて、効率的な船舶の運航のための海上・船上の情報提供サービスを実現します。

### いちご工場

徳島事業所において、完全密閉型の植物工場として国内で初めていちごの栽培に成功し、『あぼろベリー®』と名付けて販売しています。今期、その栽培設備を1万株から7万株に拡充しました。さらに、静岡県内の事業所でも10万株の栽培設備を導入する計画です。

これからは、スマートファクトリーに農業技術を付加し、食の安全・安心・安定という課題にも取り組んでいきます。



## 電気二重層キャパシタ『N's CAP』を搭載したトヨタTS030 HYBRIDがFIA世界耐久選手権で3勝

2012年FIA世界耐久選手権(WEC)において、当社の電気二重層キャパシタ『N's CAP』を搭載したTOYOTA Racing(トヨタ自動車)の[TS030 HYBRID]が、通算で3勝をあげました。

WECシリーズ全8戦中、6戦のみの参戦にもかかわらず、第5戦のサンパウロ、第7戦の富士に続き、最終戦の上海でも優勝を果たしました。

当社は、『TS030 HYBRID』のハイブリッド・システムに、モーターの蓄電デバイスとして『N's CAP』を供給しています。過酷な環境下に置かれる耐久レースのレーシングカーに搭載された経験を活かし、さらなる品質・技術力の向上を目指します。



## 新商品のご紹介

### アロマが香るトイレットペーパー『アロマフィール』の販売開始

当社グループの日清紡ペーパー プロダクツ(株)では、本年10月から香りをテーマとしたトイレットペーパー『アロマフィール』の全国販売を開始しました。

『アロマフィール』は香料にアロマオイルを配合し、ローズフルーティの甘い香りで幸せな気持ちになれる『ハッピー』と、グリーンフローラルの爽やかな香りでくつろぎ感を得られる『リラックス』の2種類を用意しました。華やかなデザインとアロマの香りで心地よいトイレ空間を演出します。



## 災害支援

### 株主優待制度を通じて「東日本大震災義援金」へ寄付

今年度の株主優待において、東日本大震災の被災地復興支援のため、日本赤十字社の「東日本大震災義援金」をお選びいただきました株主様には、厚く御礼申し上げます。

今回は268名の株主様から寄付のお申し込みをいただきました。これに当社グループの従業員と当社からの寄付を加えて、総額100万円を日本赤十字社に寄付いたしましたので、ご報告申し上げます。

## 連結財務諸表の概要

### ●連結貸借対照表の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科目	当第2四半期末 (2012年9月30日)	前期末 (2012年3月31日)	科目	当第2四半期末 (2012年9月30日)	前期末 (2012年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	215,475	239,600	流動負債	156,525	168,938
固定資産	283,673	294,028	固定負債	136,020	151,894
有形固定資産	165,059	162,824	<b>負債合計</b>	<b>292,546</b>	<b>320,833</b>
無形固定資産	42,782	47,068	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	75,831	84,135	株主資本	183,679	184,679
繰延資産	516	954	その他の包括利益累計額	△3,975	1,053
<b>資産合計</b>	<b>499,665</b>	<b>534,583</b>	新株予約権	265	246
			少数株主持分	27,149	27,771
			<b>純資産合計</b>	<b>207,119</b>	<b>213,750</b>
			<b>負債及び純資産合計</b>	<b>499,665</b>	<b>534,583</b>

### ●連結損益計算書の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
<b>売上高</b>	<b>208,354</b>	<b>172,239</b>
売上原価	165,544	143,299
<b>売上総利益</b>	<b>42,809</b>	<b>28,940</b>
販売費及び一般管理費	38,611	28,562
<b>営業利益</b>	<b>4,197</b>	<b>377</b>
営業外収益	3,200	3,470
営業外費用	2,510	1,868
<b>経常利益</b>	<b>4,887</b>	<b>1,979</b>
特別利益	184	467
特別損失	1,573	1,768
税金等調整前四半期純利益	3,498	678
法人税等	3,643	△586
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△145	1,264
少数株主損失(△)	△514	△1,411
<b>四半期純利益</b>	<b>369</b>	<b>2,676</b>

### ●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,371	11,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,661	△11,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,285	△24,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	△247	467
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,823	△24,743
現金及び現金同等物の期首残高	16,904	45,563
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	788	615
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,868	21,436

### 中間配当について

当期の中間配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 中間配当金 **1株につき金7円50銭**
2. 中間配当の効力発生日ならびに支払開始日 **2012年12月5日(水)**

会社概要

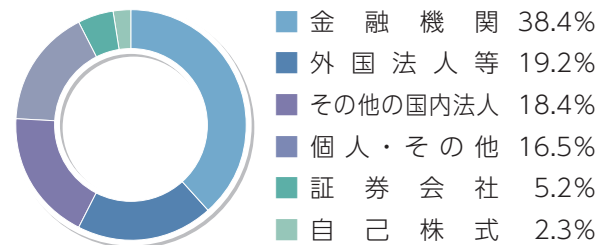
商号 日清紡ホールディングス株式会社  
Nisshinbo Holdings Inc.  
設立 1907(明治40)年2月5日  
資本金 27,587,976,204円  
従業員 229名(単体)  
22,371名(連結)  
本社 東京都中央区日本橋人形町2-31-11  
ホームページ <http://www.nisshinbo.co.jp/>

株式の概況 (2012年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数 371,755,000株  
発行済株式総数 178,798,939株  
株主数 13,885名

所有者別株式分布状況



取締役・執行役員

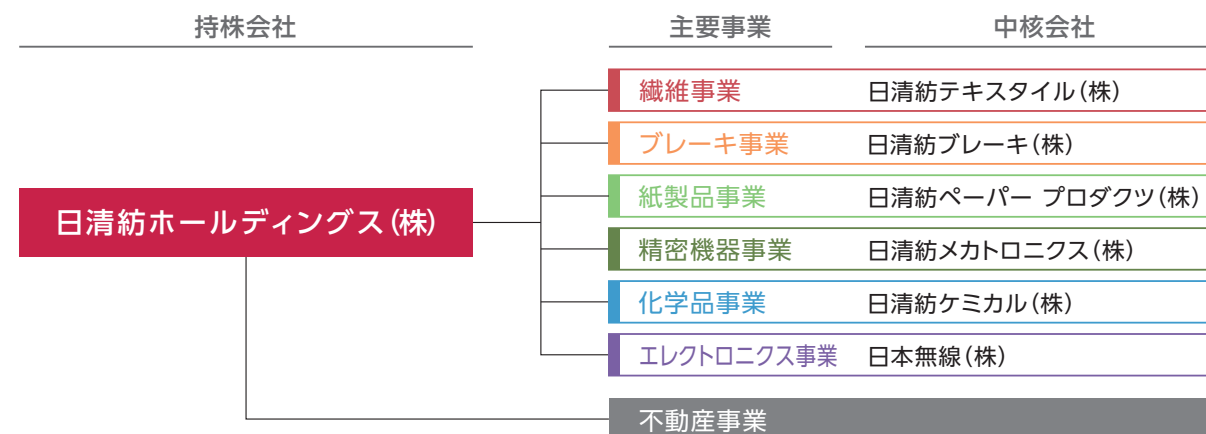
取締役社長*1	鵜澤 静
取締役副社長*1	恩田 義人
取締役専務執行役員	五十部 雅昭
取締役専務執行役員	河田 正也
取締役常務執行役員	村上 雅洋
取締役執行役員	萩原 伸幸
取締役執行役員	西原 孝治
取締役執行役員	中野 裕嗣
取締役*2	秋山 智史
取締役*2	松田 昇
取締役*2	清水 啓典
執行役員	木島 利裕
執行役員	馬場 一訓

\*1は代表取締役 \*2は社外取締役

監査役

常勤監査役	井出 義男
常勤監査役	佐塚 政男
監査役*	川上 洋
監査役*	富田 俊彦

\*は社外監査役



CM『ドッグシアター』シリーズのご紹介

本年4月からテレビや電車内などで放映されている当社グループのCM『ドッグシアター』。「おこななワンちゃんがかわいい!」「一度見たら忘れられない」などの感想が寄せられています。『ドッグシアター』シリーズは、犬と人間の二人羽織というコミカルでエンターテインメント性の高いものになっており、このCMを通じて、当社グループが環境・エネルギー分野で“いま、必要な会社”であることをアピールしていきます。



☆当社ホームページからでもご覧いただけます。